

海蔵あくら



四日市市立海蔵小学校
校長室 だより
令和4年9月29日
第8号
文責 校長 柳川洋史

全国学力学習状況調査、みえスタディチェックの結果から

6年生対象に国語、算数、理科の3教科と児童質問紙による「全国学力・学習状況調査」が、5年生4年生対象に国語、算数の2教科による「みえスタディチェック」が実施されました。該当学年の皆さんには、個人の結果を家庭学習などに活かしてほしいと思っています。

学校としましては、この結果を分析して「強み」や「弱み」などを把握し、全職員共通理解のもとで授業改善に取り組むとともに、児童の学習や生活の指導に活かしていきます。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

◎調査の目的

・「全国学力・学習状況調査」

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策や教育指導等の改善に活かすことを主な目的として6年生対象に調査を行っています。

・「みえスタディチェック」

三重県では独自の教育施策として、学習指導要領を踏まえ、知識、技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力の定着状況を確認することを目的として4年生5年生で実施しています。

◎本校の学力の状況【強み：○、弱み：△】

Ⅰ 国語科

○問題全体の正答率は、どの学年とも平均値を上回りました。

○問題種別「言葉の特徴や使い方」「我が国の言語文化」「話すこと・聞くこと」「読むこと」「書くこと」「漢字」において正答率が高いという結果がでました。

○特に、ここ3年間やや平均を下回っていた「話すこと・聞くこと」「漢字」の課題について、改善の傾向が見られます。

○記述問題においては、昨年度まで一定の条件を設けられた記述への対応力に課題が見られましたが、今年度は、字数の制限内で要約する力がつき、平均を上回る結果がでました。引き続き、適切な条件で記述する課題に取り組む学習を続けていきます。



△「文章全体の構成や書き表し方などに着目して文や文章を整える力」「文の中の主語と述語の関係、修飾と被修飾の関係を捉える力」がやや弱いという傾向が結果に表れてきました。説明文を論理的に読み取る学習等を通し、改善につなげていきます。

II 算数科

○問題全体の正答率は、どの学年とも平均値を上回りました。

○「図形」領域について、昨年度平均値を下回っていたところが、改善されました。

○多くの領域「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」で全国平均以上、また同水準の結果になりました。

△「データの活用」領域において、やや弱みが見られたため、「複合したグラフや表の読み取る力」「条件に合わせて論理的に解法を説明する力」を高められるよう、授業内容を今後も工夫していきます。

III 理科

○問題全体の正答率は、平均値を上回りました。

○「光の性質を基に、鏡を操作して、指定した的に反射させた日光を当てることができる人を選ぶ」「昆虫の体のつくりの特徴を理解する」問題では、平均を大きく上回りました。

△夜の気温変化について、結果を表したグラフを選ぶ問題では、平均をやや下回りました。問題を解決するまでの道筋を論理的に構想できるよう、授業内容を工夫していきます。



IV 今後の重点的な取組

☆今後も「目的や意図に応じて書くこと」などの言語活動を積極的に学習活動に取り入れ、継続した指導の改善を進めます。

☆発展的な問題や実生活と結びついた課題を積極的に取り入れていくことで活用する力の育成に努めます。

☆学習内容に応じ、適切な場面でタブレットを活用したり具体物を使ったりすることで児童が具体的なイメージを持って問題解決に向かえる手立てをとり、知識・技能の定着を図ります。

☆授業の中に、ペア学習、グループ学習などの協働的な学びを位置づけることで自らの考えを広げたり深めたりすることを促し、論理的な思考力や表現力の育成に努めます。

◎本校の学習・生活の状況から（児童質問紙から見られる特徴）

○肯定的回答が全国平均を大きく上回った質問

「自分の意見と違う意見について考えるのが楽しいですか」

「学校に行くのは楽しいですか」

「自分にはよいところがあると思いますか」

「議題解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいますか」

「学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」

「道徳の授業で自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」

「読書は好きですか」

△肯定的回答が全国平均を下回った質問

「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」

「土日など学校が休みの日、一日当たりの勉強時間」



☆授業の中で、話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりすることができていると感じている児童が全国平均を上回っています。今後も、グループ学習や話し合い活動を授業に取り入れ、友だちとともに学び合う授業づくりに努めます。

☆授業や勉強に対する意欲は高く、宿題も家でしているのですが、予習や復習、自主学習をする習慣には必ずしもつながっていません。宿題の質や量を考えるとともに、意欲や学習状況に応じて自主的に学習ができるよう指導と支援を続けていきます。ご家庭でも「家庭学習の手引き」を参考に、予習や復習、自主学習などを進んで行うよう、働きかけや助言をお願いします。

V 児童の解答から、弱みを感じられた設問

一例として、4年生算数で最も正答率が低かった設問をとりあげます。

「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述することができる」力を確かめるために出題されました。(1)と(2)がありますが、(2)に、今後の課題が見られました。

11 けいたさんたちは、図1の形の面積を求めようとしています。方眼紙は1めもり1cmです。

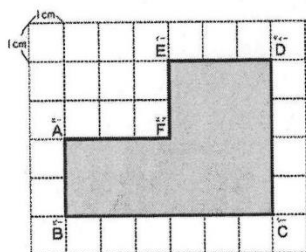
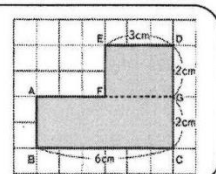


図1

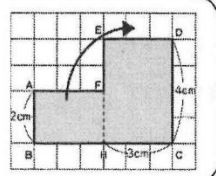
(1) けいたさんとゆうたさんは、図1の形の面積が何 cm^2 になるかを考えています。



長方形EFGDと
長方形ABCGの2つの
長方形に分けて考えたよ。
 $2 \times 3 + 2 \times 6 = 18$
答え 18cm^2



長方形ABHFを
長方形EHCDの上に
動かして、1つの長方形
AHCFにして考えたよ。
() $\times 3 = 18$
答え 18cm^2



ゆうたさんの考えの () にあてはまる式を答えましょう。

(2) あやかさんは、図1の形の面積について、けいたさんやゆうたさんとは別の求め方で考えました。



わたしは、ほかの求め方を考えました。

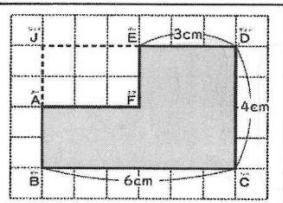
【あやかさんの求め方】

$$4 \times 6 = 24$$

$$2 \times 3 = 6$$

$$24 - 6 = 18$$

答え 18cm²



【あやかさんの求め方】の中の「 $24 - 6$ 」は、どのようなことを表していますか。「24」と「6」がどのような図形の面積を表しているのかがわかるようにして、けいたさんたちの考えと同じように、言葉と数、AからJまでの記号を使って書きましょう。

※解答は、かいとう解答用紙に書きましょう。

(1)の正解は、「 $2+4$ 」または「 $4+2$ 」となります。

(2)では、あやかさんの数式「 $24-6$ 」から、その意味と解法の意図を読み取り、記述することが求められています。数式を書くのではなく、他人の考えをわかりやすく解説することはなかなか難しいものです。

正答の条件は、「 $24-6$ 」について、次の①②③の全てが記述されていることです。

- ① 24が、長方形 JBCD の面積を表していること
- ② 6が、長方形 JAFE の面積を表していること
- ③ 引き算が、ある図形からある図形を取り去ることを表していること

正答例は

24は、長方形 JBCD の面積を表しています。

6は、長方形 JAFE の面積を表しています。

$24-6$ は、長方形 JBCD の面積から長方形 JAFE の面積を引いていることを表しています。

となります。

子どもたちの解答を確認すると、①と②は記述できているのに、③について説明できていない事例が多くみられました。

答えを導き出すときに、どのような手順で進めるのか、その手順一つひとつがどのような意味でつながりあっているのか。論理的に説明したり、記述したりする機会を、授業の中で意識的に取り上げていくことが必要であると、教員間で分析し合いました。

算数だけでなく、物事を説明しなければならない場面は、他の教科でも、日常生活にもたくさんあります。

社会人となったときに、自分の考えをわかりやすくプレゼンテーションする力は重要視されるものの一つではないでしょうか。

段階を踏んで、子どもたちがその力を育めるように、授業改善を進めていきます。

